

ホームページも  
ご覧ください  
<http://kusuo-o.net/>

大島九州男  
キャラクター  
Qちゃん

参議院議員 全国 比例代表

# 大島九州男

福岡事務所 直方市感田 1466-3 国会事務所 東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院会館 910

**国政報告会**

11月22日(木)

19:00~

ユメニティのおがた  
無料・飲食はありません

出張国政報告  
皆様の会で大島議員が  
国政報告致します

国会見学会  
いつでも見学できます

お問い合わせ  
電話 03-6550-0910  
kusuo\_ooshima02@sangin.go.jp

70th Anniversary: "Universal Declaration of Human Rights" 世界人権宣言70周年記念

## Top 第4回 世界ダリット会議

大島九州男議員は第4回世界ダリット会議において日本の国会議員代表として挨拶。  
世界人権宣言70年の節目の年にあたり「人権なくして平和なし」、「平和なくして人権なし」と高らかに宣言し、平和や人権、環境、民主主義確立のため国際社会が連帯しあって前進すべきであると述べました。



前回(2015年)の  
パリ大会に続く世界ダ  
リット会議は、松本治一  
郎先生が第二次大戦後  
の1953年、アジアを  
歴訪する中、1月30日  
インドにおいてインド  
の被差別民=ダリットの  
解放の父・アンベード  
カル博士と固く握手を

かわし、世界から一切の差別をなくし、人が人として尊重される社会を築き、世界平和の実現を目指すことを誓いあったことが起点とされます。  
大島九州男議員は憲法審査会においても世界平和実現のため、特に憲法9条の改正議論については、そもそも現在の平和憲法を改正する必要がないとの立場を明確にしています。  
お一人おひとりの命を守り、そして人権を確立していく。その先にある世界平和実現のため、大島九州男議員の取り組みは続きます。

**柔整 ミャンマー柔道連盟**

柔道整復師養成校の草分けである東京柔道整復専門学校がミャンマーでトレーナー講習に参加したとブログで発表しました。日本とミャンマーのスポーツ平和外交を支えてくださるおひとりお一人の先生方のご努力に敬意を表します!

**動物愛護 杉本彩さんと対談**

公益財団法人動物環境・福祉協会Evaの理事長である杉本彩さんと国会内で対談をさせていただきました。  
杉本彩さんと大島九州男議員との対談内容を裏面で報告させていただきます。

**教育 塾と教育に掲載**

民間教育界において最大級の情報量を誇る「塾と教育」に大島九州男議員と文部科学省との対談『早わかり「大学入試改革」』が掲載されました。  
民間教育と文部科学省の連携が進化した最新情報をご覧ください。

参議院議員 全国・比例代表 **大島九州男**

- ✓1961年福岡県生まれ 日本大学法学部卒
- ✓超党派「民間教育を考える議員連盟」事務局長
- ✓一般社団法人 日本青少年育成協会 顧問
- ✓公益社団法人 全国学習塾協会 顧問

参議院選挙は **2枚名前を書きます!**

1枚目 選挙区  
クリーム色の投票用紙

2枚目 比例代表  
白色の投票用紙

**事務所からご案内**

① ポスターの掲示をお願いいたします!

「いのちを守る」 大島九州男  
室内用 A4とA3からお選びください

大島九州男  
屋外用 A3の4倍の大きさです 風雨に耐えます

② 全国キャラバン隊があなたの街に! ブログでいま、どこにいるのか探して下さい(^-^)



**大島** いつも応援してくださっているボランティアさんが新潟で偶然杉本彩さんとお目にかかったという情報が私の元に届いたときにはびっくりしました。

しかも、動物たちを守る取り組みをされているということで、いま私が取り組ませていただいている「いのちを守る」活動と相通じる部分があって、これは杉本さんとお目にかかりたいと思い、いろいろな方に相談をして、ようやく実現にこぎ着けました。

国会までおいでいただきありがとうございます。

**杉本** じつは、全国いろいろなところに大島議員が視察に行かれていますと聞きまして、今日の面会を楽しみにしておりました。

私は動物愛護をど真ん中に活動していて、感受性のある動物たちを守りたいんです。

動物問題と言っても関係する省庁がまたがっているじゃないですか。だから、山のようにある問題を、今は環境省が担当しているのですが、みなさんも「ペット問題、何かあるなあ」とだんだん気づき始めていると感じています。意識の高まりですね。



**大島** 先日、ある県の動物保護センターへ訪問したとき「1700頭の殺処分対象の犬猫が、170に減ったんですよ！」と聞いて、どうして減ったのですかと聞いたら「もとの飼い主さんにもう一度思い直してもらうなどして、引き取ってもらえたんです。」というんですよ。フォローをされているんですか？と尋ねたのですが「う〜ん」でした。追跡調査はしていないんです。



写真) 左から  
公益財団法人動物環境・福祉協会Eva理事長 杉本彩さん  
大島九州男議員、事務局長 松井久美子さん

**杉本** 前回の法改正で、保健所が(犬猫などの)引き取りを拒否できるようになりましたよね。

これすごく大きな問題で、業者が持つ不要犬猫だけではなくて、一般家庭でお手上げとなった犬猫までかなり断っているという状況になっているんです。

そのあとどうなったのか追跡がされていないし、動物たちが虐待やネグレクトに遭う1つのきっかけとなっていて、行政の対応にばらつきがあるんです。

ただ、日本の法律で動物は「モノ」という認識なので、「モノ」である以上、動物の福祉という考え方が今の日本の法体系の中ではありえないということになるんです。法律を変えたくないということの理由付けとして、かならずそこ(動物はモノ)が出てきて、動物愛護法だけじゃなくて、もっと根本的なところから何かしら手を入れていかないとだめなんです。そこが大きな問題だと思うんです。



東日本大震災復興・福島・原発事故対策本部 (党HPから抜粋)

党の新体制が発足して最初となる東日本大震災復興・福島・原発事故対策本部(本部長=増子輝彦幹事長代行、事務局長=大島九州男参院議員)が国会内で開かれた。会議には玉木雄一郎代表も出席し、「福島の復興なくして日本の再生なし、がわが党の大きな方針だ。10年の期限がある復興庁の今後の形など、党内議論を進めていきたい。現地現場にしっかり足を運び、現場に寄り添った対策に、党を挙げて全力で取り組んでいきたい」とあいさつ。

会議では、事故を起こした東京電力福島第一原子力発電所から排出される汚染された水の処理水(他核種除去設備等処理水)の取り扱いについて、8月末に福島県富岡町、郡山市、東京都内で開かれた説明・公聴会の内容を経



写真) 司会進行をつとめる大島九州男議員

産省の担当官から聴き、意見交換。出席議員からは「処理水の海洋放出は時期尚早であり、相当な国民の理解がなければやるべきではない」「科学的根拠と住民の安心は違う」といった指摘が出された。

今も全国に5万8千人いる避難者の今後の生活の展望や支援、地場産業である水産加工業の再開について、実態と省庁が把握しているデータのかい離などを指摘する意見が相次いだ。

7年半過ぎて震災が風化している。役人の皆さんも現地に足を運んで生の声を聞いて今何が求められているか把握してほしいとまとめ、大島事務局長が党としての東北視察を検討すると述べ、会議を終えた。